

千葉県君津市の公立保育園民営化に 社会福祉法人どろんこ会が採択されました

～公立保育園の民営化でインクルーシブモデルを提案 保育の新たな価値を創造します～

社会福祉法人どろんこ会（本社：東京都渋谷区 理事長：安永愛香）は2021年7月、千葉県君津市立内箕輪保育園の民営化に伴う整備運営事業者に決まりましたことを発表いたします。当グループは、君津市における公立保育園の民営化第1号も手がけ、2018年4月、児童発達支援事業所を併設した認可保育園を新たに開園した実績をもっています。そこでこの経験と恵まれた周辺環境を十分に生かし、2023年4月の開園に向け、鋭意準備を進めてまいります。

民営化をきっかけに保育の新たな価値の提案を

君津市は2021年3月に、内箕輪保育園の民営化による建て替えの実施に伴い、保育園の整備運営事業者の募集をしました。

どろんこ会グループは、君津市における最初の公立保育園民営化事業にも携わり、2018年4月に宮下どろんこ保育園を開園いたしました。認可保育所に児童発達支援事業所、子育て支援施設も併設することで、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが生活を共にするインクルーシブモデルを導入。以来3年にわたり地域の方々と共に歩んでまいりました。今回の募集においてもその経験を生かしインクルーシブモデルを提案、採択に至りました。

※事業計画は君津市と協議のうえ決定されます。



宮下どろんこ保育園のインクルーシブモデルとは

宮下どろんこ保育園は、保育所と同じ敷地内、同じ園舎内に児童発達支援事業所を併設しています。障害や心身の発達に気がかりのある子どもたちは、発達支援の専門士の支援を受けながら、保育所の子どもたちと共に生活しています。

どろんこ会グループは子育ての場を障害の有無で分けません。すべての子どもが共に遊び、学び、食べ、眠り、育つインクルーシブ保育を実践しています。子どもたちが、それぞれの個性のぶつかりあいを経験し、違いを認めて頼りあい、手を差し伸べあうことを学んでいくことが、共生社会に向けての土台づくりだと考えています。



どろんこ会グループは公立保育園の民営化にあたり、これまでの成り立ち、思い、活動内容、地域の状況をしっかり把握したうえで、「ただ引き継ぐだけ」ではなく、「にんげん力。育てます」という保育理念のもと、子どもをまん中にした保育を行政、保護者、地域の方々と共に取り組み、保育の新たな価値を創造してまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ （東京都渋谷区渋谷 1-2-5 MFPR 渋谷ビル 13F）
広報部 松本 TEL：03-5766-8059 Email：koho@doronko.jp

(参考資料1)

どろんこ会グループの発達支援事業について

児童発達支援は、児童福祉施設とされる①「児童発達支援センター」と、それ以外の②「児童発達支援事業」の2種類に分かれています。いずれも障害児とその家族に対する支援を行うことは共通していますが、①は専門機能を生かした地域の中核的な支援施設の位置づけとなり、②は利用者の相談・支援が中心のより身近な場とされています。

どろんこ会グループでは、下記の施設で発達支援事業を展開しています。保育士・公認心理師・臨床心理士・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・音楽療法士などの専門士を配置し、各々の発達に合わせた効果的なプログラムを提案、提供します。

さらに、各施設には「つむぎカフェ」を併設しており、利用中のわずかな時間でも保護者の方がほっと息をつけるように、コーヒーや紅茶を用意しています。カフェは地域のすべての方にも開放することで、地域とつながる場を創っています。



名称	所在地	分類	併設保育所名
子ども発達支援センター つむぎ浦和美園	埼玉県さいたま市	児童発達支援センター	
発達支援つむぎ ふじみ野ルーム	埼玉県ふじみ野市	保育所併設の児童発達支援事業所	ふじみ野どろんこ保育園
発達支援つむぎ 桶川ルーム	埼玉県桶川市	保育所併設の児童発達支援事業所	メリー★ポピンズ 桶川ルーム
発達支援つむぎ 駒沢ルーム	東京都世田谷区	保育所併設の児童発達支援事業所	駒沢どろんこ保育園
発達支援つむぎ 北千住ルーム	東京都足立区	保育所併設の児童発達支援事業所	北千住どろんこ保育園
発達支援つむぎ つつじヶ丘ルーム	東京都調布市	保育所併設の児童発達支援事業所	つつじヶ丘どろんこ保育園
発達支援つむぎ 阿佐ヶ谷ルーム	東京都杉並区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 吉祥寺ルーム	東京都武蔵野市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 池尻ルーム	東京都世田谷区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 目白ルーム	東京都豊島区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 府中ルーム	東京都府中市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 調布ルーム	東京都調布市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 荻窪ルーム	東京都杉並区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 宮下ルーム	千葉県君津市	保育所併設の児童発達支援事業所	宮下どろんこ保育園
発達支援つむぎ 横浜西口ルーム	神奈川県横浜市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 横浜東口ルーム	神奈川県横浜市	児童発達支援事業所	

どろんこ会グループの発達支援施設の一覧はこちらからもご覧いただけます。

https://www.doronko.jp/facilities_type/type-020/#condition

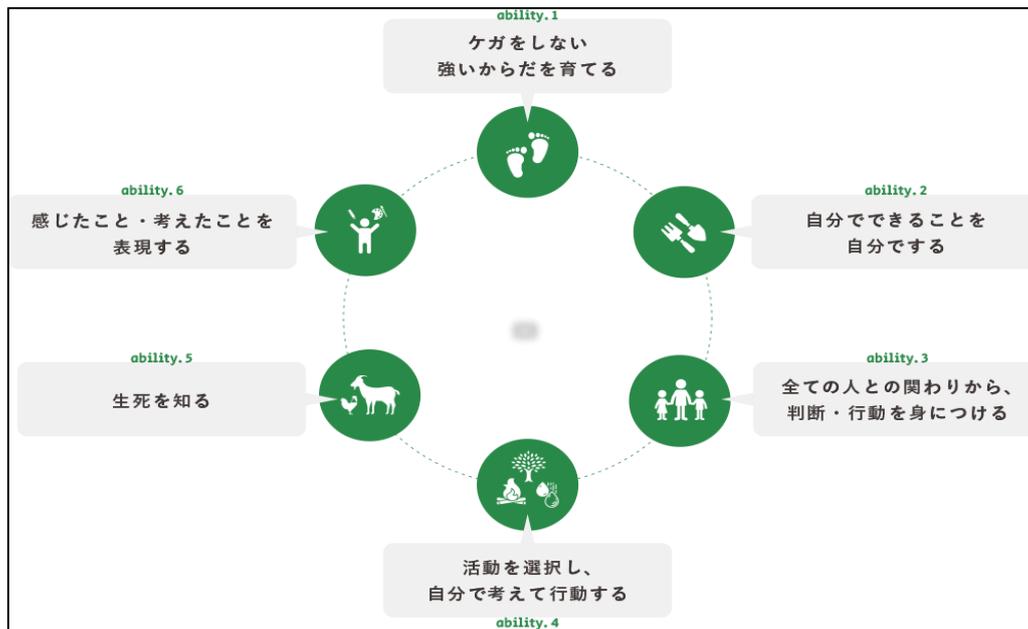
児童発達支援事業と保育所は、同じ児童福祉法に基づく施設ですが、制度面の違いから別々で設置されていることが一般的です。ですが、どろんこ会グループは、未来を共に生き抜いていく力の土台を育むために、すべての子どもが同じ屋根の下で暮らし、どの子にも発達に必要な経験の場を保障する「併設モデル」を推進しています。

弊法人のホームページにて実際の取り組みを以下でご覧いただけます。ぜひ一読ください。

「全ての大人が全ての子どもを育てる保育園」へ。どろんこ会が目指すインクルーシブ保育「保育園+発達支援つむぎ」の取り組み <https://www.doronko.jp/action/20180830a/>

(参考資料 2)

どろんこ会グループの子育てとは



どろんこ会グループの子育てでは、就学前教育の前段階から非認知能力を育むことに重きを置いています。そのために必要な6つの力を身につけることを目標としています。

1. ケガをしない強いからだを育てる

園では裸足で過ごし、長距離散歩や木登り、リズム体操、雑巾がけ、座禅を取り入れています。

2. 自分でできることを自分でする

子どもたちは畑仕事をし、自ら育てたものを調理する体験もします。給食のお米は、新潟県南魚沼市にある自社の田圃、植え付けから精米、発送まで自給自足で行っています。子どもたちは毎年田植え、稲刈りに参加します。

3. 全ての人との関わりから、判断・行動を身につける

0歳から5歳児が共に暮らす異年齢保育、そして障害の有無では分けないインクルーシブ保育を実践しています。地域の交流を大切に、商店街ツアーや青空保育を行っています。

4. 活動を選択し、自分で考えて行動する

火、水、土と関わることで、自然の事象に自ら気づき、考える力を養います。

5. 生死を知る

ヤギやニワトリなどの生き物の世話を通じ、命の重みを知ります。また、「命あるものを食している」ことを経験するための食育、命の大切さを学ぶ性教育も実施しています。

6. 感じたこと・考えたことを表現する

生活の中で自由に表現し創る環境を用意し、子どもが感じたこと、考えたことを表現できるよう保育計画を立てています。

どろんこ会グループ（社会福祉法人どろんこ会、株式会社ゴーエスト、株式会社日本福祉総合研究所、株式会社南魚沼生産組合）は全国約140箇所の認可保育園、事業所内保育所、児童発達支援センター、子育て支援施設等を運営。次代を担う子どもたちの「にんげん力」を育む体験型保育・自然保育を行う。幼児期の性教育や男性保育士比率の高さなど、各種メディアでもその取り組みが紹介されている。1998年設立。職員数約2000人。利用者数約7000人（2021年7月現在）

HP : <https://www.doronko.jp/> Facebook : <https://www.facebook.com/doronkokai/>

Twitter : @doronko_offical Instagram : @doronko_official/

Youtube : <https://youtu.be/d-SV7YuQmIM>